

01 開会式

3年振りの通常開催となった「よい仕事おこしフェア」の開会式では、秋葉復興大臣、小池東京都知事、御室全国信用金庫協会会長にご来賓を代表して挨拶を頂戴し、“絆舞”の鏡開きで盛大に開会致しました。



02 イベントステージ

開会式のメインステージでは、ご来賓の首長様による一言PRを始め、様々な団体の皆様による地域創生や販路拡大への取組み等の発表、出展企業様による自慢の技術紹介などを行いました。



「2022“よい仕事おこし”フェア」ステージプログラム

6日	首長一言PR
	輪島貫太くん
	#ともに笑顔に「少年アーティストがみんな幸せにする絵を描くまで
	浅野燃系(株) 岐阜県
	岐阜の町工場のたくらみ in フタバ
	柏崎市 新潟県
	雪国でバナナ産くってアツイかわさき!
	伊豆の国市 静岡県
	ニューファーマーの繋がりが楽しく地域活性化への農業
	(株) KITA 愛媛県
	愛媛県大須市の歴史的資源を活用した観光まちづくり
	長門市 山口県
ふるさと長門「いいもの」自慢	

7日	信金中央金庫
	ゼロをイチにする 物販の海外向け販売
	(株) 丸高工業
	ニーズにこたえる独自のものづくりで建設業界に新市場を共に創造しませんか
	わが社自慢の加工技術
	㈱アルファテック
	㈱イソタメタル
	㈱大橋製作所
	㈱高梨製作所
	タチ工業㈱
	㈱カエ
	日本電鏡工業㈱
㈱不二WPC	

03 出展ブース

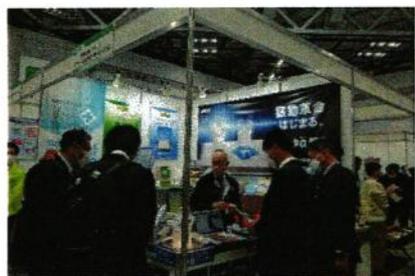
長引くコロナ禍や原材料高騰などの影響を受けお困りになっている地域の事業者の皆様の『本業支援』を目指し、特に大きな影響を受けている「ものづくり」「観光」「食品」に関連する事業者の皆様にご出展いただき、中身の濃い大商談会となりました。

出展ブース数 《447》

ものづくり 160

食品 185

観光・連携先 102





04

閉会式

2022よい仕事おこしフェアも、全国の皆様のご協力のお陰で無事終了する事が出来ました。最後は、出展者の皆様、ご来場の皆様が一つとなり、この絆を大切にして、大変な状況を乗り越える事を誓い合い閉会致しました。これからもよい仕事おこしネットワークは、全国の皆さんと連携を深め、困難な状況を乗り越えるために全力投球して参ります。



2022よい仕事おこしフェア (TV)

【NHK】
ニュースLIVE! ゆう5時



【フジテレビ】
LIVE Newsアルファ



【東京MXテレビ】
news TOKYO FLAG



【J:COM】



2022よい仕事おこしフェア (TV Web版)

【テレビ朝日】

全国中小企業の商談会 3年ぶりに通常開催

12月6日 20時25分

テレビ朝日 news



全国中小企業の商談会 3年ぶり通常開催

12月6日 20時25分

全国の中小企業が一堂に会する商談会「よい仕事おこしフェア」が6日、3年ぶりに通常開催の形で東京で始まりました。

【広島ホームテレビ】



全国中小企業の商談会 3年ぶりに通常開催

12月6日 19時25分



【フジテレビ】

FNNプライムオンライン

12月6日 19時25分

政治 社会 経済 国際 ライフ エンタメ スポーツ コラム 報道写真



地域活性化へ 中小事業者のビジネスマッチング
信用金庫のネットワーク活用

【東日本テレビ】



全国中小企業の商談会 3年ぶりに通常開催

12月6日 19時25分



全国の中小企業が一堂に会する商談会「よい仕事おこしフェア」が6日、3年ぶりに通常開催の形で東京で始まりました。

【ABEMAテレビ】



最新の経済ニュース【随時更新】

全国中小企業の商談会 3年ぶりに通常開催

【福島放送】

KFB 福島放送

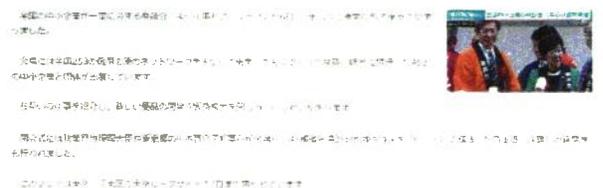
NEWS

ニュース

政治 経済 社会 国際 スポーツ エンタメ

2022-12-06 16:25:26 更新

全国中小企業の商談会 3年ぶりに通常開催



2022よい仕事おこしフェア (記事)

【東京新聞】

よい仕事おこしフェア 開幕前日、準備作業が盛
む会場＝5日、東京都江東区で(川北真三撮影)



よい仕事おこしフェアきょう開幕

挑戦する企業多数出展

全国の信用金庫のネット
ワークを生かし、コロナ禍
や物価高などに直面する中
小企業の本業を支援する商
小会(2022)を主催する東
二シフェア(同実行委員会
主催、東京新聞後援)が
六、七日の両日、東京都江東
区の東京ビッグサイトで開
かれる会場では五日、四百
六十四の出展企業が展示を
並べたり、事業を紹介する
パネルなどを掲げたばかりで
準備を始めた。入場無料、

「輪島きよたの作品も
三年ぶりの通常開催とな
る今回、全都道府県の大
百十三個券が総額、開催
開拓や事業拡大など売り上
げ増加に結びつく「Bto
B(企業間取引)のマッ
チングに力を入れる。もの
づくりや食品、観光の三業
を中心に、四百四十六の
出展スペース(ブース)が
会場に並び、

新築品柏崎市は、産業界
の信用金庫「信金の神
様の教え 今よみがえる
小原鐵学」(東京新聞後
援)などの書籍を贈る。兄妹
アーティスト輪島貴太さん
も出展する。(大島晃平)

【東京新聞】

社会問題 解決後の世界描きたい

よい仕事おこしフェア開幕

トークイベントで
輪島貴太さん夢語る

東京新聞は6日、「よい仕事おこしフェア」の会場に出展し、取材拠点としての「ビッグサイト臨時支店」、書籍を案内する「東京新聞書店」の看板を掲げた。フェア開幕の熱気を記事と写真グラフで連発するA3サイズの場内新聞を会場内で発行、乗客持ち帰りした。

大学が企業・団体の出展スペース(ブース)を取材して記事を書き、写真を撮影する学生新聞もつくった。初日は大正大3年の玉岡健人さん(21)、天地久成さん(21)の2人が記者体験として参加。天地さんは「伝える仕事では、相手のことを考えた文章構成が大事だと学んだ」と話した。

場内新聞で熱気を速報

本紙「臨時支店」書店」を出展

東京新聞は6日、「よい仕事おこしフェア」の会場に出展し、取材拠点としての「ビッグサイト臨時支店」、書籍を案内する「東京新聞書店」の看板を掲げた。フェア開幕の熱気を記事と写真グラフで連発するA3サイズの場内新聞を会場内で発行、乗客持ち帰りした。

大学が企業・団体の出展スペース(ブース)を取材して記事を書き、写真を撮影する学生新聞もつくった。初日は大正大3年の玉岡健人さん(21)、天地久成さん(21)の2人が記者体験として参加。天地さんは「伝える仕事では、相手のことを考えた文章構成が大事だと学んだ」と話した。

【東京新聞】

よい仕事おこしフェア きょう開幕



会場で輪島きよたの作品展示

東京(ビッグサイト)で東京都江東区で六日に開幕する「よい仕事おこしフェア」では、笑顔の人があふれる集客会場へ来場者の輪島貴太さん(21)と、妹の輪島久成さん(21)が記者体験として参加した。二人は「伝える仕事では、相手のことを考えた文章構成が大事だと学んだ」と話した。



「信金の神様の教え」新たに対談収録

一部会場で信用金庫の川本治理事長と城崎信金の川本善治理事長が9月29日、東京・五反田の城崎信金本店で

六日開幕の大会場「よい仕事おこしフェア」(東京新聞後援)で販売する小原鐵学(1995年)「信金の神様の教え 今よみがえる小原鐵学」(2022)には、小原鐵学(1995)の教えを、全国信用金庫協会の副会長として収録した。

「信金の神様の教え」は、小原鐵学(1995)の教えを、全国信用金庫協会の副会長として収録した。

「信金の神様の教え」は、小原鐵学(1995)の教えを、全国信用金庫協会の副会長として収録した。

【東京新聞】

中小464企業 紡ぐ商機



会場は多くの人で賑わった。東京新聞は、会場内に出展し、取材拠点としての「ビッグサイト臨時支店」、書籍を案内する「東京新聞書店」の看板を掲げた。

全国の信用金庫のネットワークを活用し、464の企業や団体が出展する「2022よい仕事おこしフェア」(同実行委員会主催、東京新聞後援)が6日、東京都江東区の東京ビッグサイトで開幕した。7日(午前10時～午後4時)まで、入場無料。3年ぶりの通常開催で、初日から新たなビジネスの種も生まれた。(大島晃平)



よい仕事フェア開幕

【東京新聞】

よい仕事おこしフェア開幕

64社・団体 対面商談に熱気

全国の信用金庫のネットワークを活用し、464の企業や団体が出展する「2022よい仕事おこしフェア」(同実行委員会主催、東京新聞後援)が6日、東京都江東区の東京ビッグサイトで開幕した。7日(午前10時～午後4時)まで、入場無料。3年ぶりの通常開催で、初日から新たなビジネスの種も生まれた。(大島晃平)

名古屋の食品製造会社 × 東京のオンラインショップなど



会場は多くの人で賑わった。東京新聞は、会場内に出展し、取材拠点としての「ビッグサイト臨時支店」、書籍を案内する「東京新聞書店」の看板を掲げた。

【日刊工業新聞】

中小の本業支援拡大



川本 恭治氏

「信金の神様の教え」は、小原鐵学(1995)の教えを、全国信用金庫協会の副会長として収録した。

信金の出番きめ細かく対応

「信金の神様の教え」は、小原鐵学(1995)の教えを、全国信用金庫協会の副会長として収録した。

記者の目

「信金の神様の教え」は、小原鐵学(1995)の教えを、全国信用金庫協会の副会長として収録した。

【東京新聞】

信託業界のネットワーキングを促進した商談会「2022よい仕事おこしフェア」(同実行委員会主催、東京新聞主催)が七日、二日間の日程を終え、閉幕した。三年ぶりの過渡期で、商談につなげたいと積極的な声し合いが行われた。

「建設業界コラボで革命を」を掲げた野田聖子衆院議員は、信託の川本純治理事長が「厳しい状況が続くが、思いを一つにして明るく元気な日本にしよう」とあいさつ。最後は掛け声に合わせて、「ふんし」を突き上げ、意気込みを示した。(飯沼利崇)

よい仕事おこしフェア閉幕

出展ブースにぎわう商談



参加者が賞を突き上げフィナーレを迎えたよい仕事おこしフェア。いづれも7日、東京都江東区の東京ビッグサイトで。(山本西子撮影)

が取材した新聞を発行した。閉会式では、全都道府県二百五十一地域のコメントで上げた一部を賞状金として、台風被害などに遭った山形、福島、静岡各県に贈った。野田聖子衆院議員は「厳しい状況が続くが、思いを一つにして明るく元気な日本にしよう」とあいさつ。最後は掛け声に合わせて、「ふんし」を突き上げ、意気込みを示した。(飯沼利崇)

多くの出会いに手応え

各地の企業・団体が出展した「よい仕事おこしフェア」。対面での商談が盛り上げられた二日間、販路開拓やビジネスパートナー獲得に向けた出会いが数多く生まれた。

車や鉄道用の機器部品を製造する海西工業(東京都大田区)は新たな取組先として開発した機器をお披露目した。資料は福岡県海防の少ないバイオエタノールで、においも抑えられる。ホテルや飲食店などの約八十社が購入の意思を示した。「野田聖子衆院議員の城南区役所前取組校舎には、まだPRは不慣れ。他ブースのやり方が、今後の活動のヒントになった」と話した。(大島寛平、飯沼利崇)



フリー商談スペースでは、積極的な話し合いが続いた。

【東京新聞】

建設業界 コラボで革命を

よい仕事おこしフェア



品川の丸工工業：消音工法で働く時間も転換

「よい仕事おこしフェア」が初日の六日、換野社が元気で全町遊覧を催した。今年八月、十一月五日から住民の帰還が始まり、新工場は特許技術を使用した「スーパーゼロ」と呼ばれる特殊な系の工法で初めて双葉町へ「これが予定地」と業内関係者は、既に除染作業の中間段階があり、住民もいないため「しん」としていったという。自身が福島出身という縁もあり「見ちゃった、放っておけなかった」と機野社長。「新工場の糸遊見に来てほしい。双葉

【東京新聞】

岐阜の燃糸会社が新工場 「双葉とともに」社長訴え



新工場への思いを語る機野燃糸の機野社長。八月八日、東京ビッグサイトで。(山本西子撮影)

東京ビッグサイト(東京都江東区)で開かれている中小企業の商談会「2022よい仕事おこしフェア」(同実行委員会主催、東京新聞後援)は七日、最終日を迎えた。全国約五百の出展企業が集まり、自社製品や技術をPRする中、岐阜県安八町で糸を製造する「機野燃糸」が会場内のステージから「私たちは機野燃糸双葉町に工場を建設し、共に立ち上がる」と訴えた。機野燃糸社長(以下「社長」と呼ぶ)は「双葉町は、福島県双葉町に建設された工場は、既に除染作業の中間段階があり、住民もいないため「しん」としていったという。自身が福島出身という縁もあり「見ちゃった、放っておけなかった」と機野社長。「新工場の糸遊見に来てほしい。双葉



来年4月、福島県双葉町で稼働する機野燃糸の新工場。同社提供

賢太さん色づかい「素晴らしい」

よい仕事おこしフェア最終日の七日、小泉元副首相が会場を訪れ、企業家と対話。兄はアーティストの機野賢太さん。賢太さんの作品「ネル」を見た。小泉元副首相は大臣を務めていた2020年、記者会見で、賢太さんのイラストをデザインにしたバッグを紹介した。バッグは、昔ながらのファッションイベントで使われた食べ残しを持ち帰るための「ドギーバッグ」。賢太さんの作品が広く知られるきっかけの一つとなった。小泉元副首相は「ネルを見て「明るさ



視察に訪れ、機野賢太さんの作品の前で写真撮影する小泉元副首相

2022よい仕事おこしフェア (記事)

【福島民報】

全国の信金力を結集 中小企業に出会いの場



東京・有明コロシアムで開かれた「よい仕事おこしフェア」の様子。会場には多くの出展ブースがあり、来場者は活発に交流している。

全国の信用金庫が力をあわせて、中小企業に出会いの場を創出した。東京の有明コロシアムで開かれた「よい仕事おこしフェア」は、全国の信用金庫が力をあわせて、中小企業に出会いの場を創出した。東京の有明コロシアムで開かれた「よい仕事おこしフェア」は、全国の信用金庫が力をあわせて、中小企業に出会いの場を創出した。

よい仕事おこしフェア開幕

食品・食料、観光など 464社・団体出展

きょうまで東京

【福島民報】

コロナ前規模で大商談会

全国の信用金庫が力をあわせて、中小企業に出会いの場を創出した。東京の有明コロシアムで開かれた「よい仕事おこしフェア」は、全国の信用金庫が力をあわせて、中小企業に出会いの場を創出した。



浅野燃糸社長が講演中。

被災地再生、貢献へ決意
浅野燃糸社長が講演中。被災地再生、貢献へ決意。

浅野燃糸社長が講演中。被災地再生、貢献へ決意。

【福島民報】



ダウンを手に、衣料品のリメイク小について説明する出展社社員(左)。

県内企業 活発に商談

よい仕事おこしフェア最終日

県内企業は活発に商談を交わしている。よい仕事おこしフェア最終日。

【熊本日日新聞】

中小企業 商機広げて

東京で「仕事おこしフェア」



「よい仕事おこしフェア」で地元産品を紹介する上田市農林水産物プラント推進協議会と山下東樹園の出展ブース＝6日、東京都江東区。

新たな取引先とのマッチングを目指す。7日まで。

フェアは東京日本大通りの有明コロシアムで開催された。被災地再生や観光振興を目的とした。被災地再生や観光振興を目的とした。

【岐阜新聞】

浅野燃糸社長「復興の力に」

東京で「よい仕事おこしフェア」



浅野燃糸の取り組みを説明する浅野燃糸社長。東京江東区、有明コロシアム。

福島の工場新設を紹介

高吸水性タオルメーカーの浅野燃糸社長が、東京で「よい仕事おこしフェア」に参加した。浅野燃糸社長は、被災地再生や観光振興を目的とした。

【佐賀新聞】

全国の信金、商談会で販路拡大支援

全国の信用金庫で構成する「よい仕事おこしフェア実行委員会」は6日、取引先である中小企業の販路拡大に向けた商談会を東京都江東区の東京ビッグサイトで開いた。



商談会で新潟県柏崎市で企業が発売した高吸水性タオルを販売する来場者＝6日、東京ビッグサイト。

全国の信用金庫で構成する「よい仕事おこしフェア実行委員会」は6日、取引先である中小企業の販路拡大に向けた商談会を東京都江東区の東京ビッグサイトで開いた。

【北陸中日新聞】

信用金庫のネットワークを活用した商談会「よい仕事おこしフェア」が7日、東京の東京ビッグサイトで開催された。小泉進次郎・元閣僚が同日訪れ、各企業の取り組みを視察した。東京新聞・中日新聞東京本社社「の出版スペース」も訪問。金沢市の見本アーティスト輪島賢太さん、職さんの作品パネルに見入った。

小泉元閣僚は大臣を務めていた二〇二〇年、記者会見で「よい仕事おこしフェア」を見て、「明るさと独特の色づかいが素晴らしい」と称賛。「パングは人に見せたいと思わせるデザインだ」と語った。(大島寛平)

賢太さん作品 色づかい称賛

小泉元閣僚、本紙ブース訪問



視察に訪れ、輪島賢太さんの作品の前で写真撮影する小泉進次郎元閣僚。7日、東京の東京ビッグサイトで。

東京・よい仕事おこしフェア

【山口新聞】



長門市もブース出展し、来場者に特産品などを紹介した。8日、東京都江東区。

長門の味覚をPR

全国の信用金庫が協賛する「よい仕事おこしフェア」の東京会場に、長門市もブースを出展し、特産品のPRを行った。会場には、長門市の味覚をPRするための「よい仕事おこしフェア」のブースが設けられた。ブースには、長門市の特産品が並び、来場者から人気を集めた。ブースでは、長門市の特産品について、長門市の職員が説明を行った。

【神奈川新聞】



実行委員会では6日、取引先である中小企業の販路拡大に向けた商談会を東京都江東区の東京ビッグサイトで開いた。新型コロナウイルスの影響を受けている地域の企業を支援する。製造業や観光業、食料関係といった各地の業者、自治体などが参加した。長門県(長門県)の菊田真紀子副知事は、県外の人を知ってもらい、地域を元気にしたいと力を込めた。主催者代表の樋口郁雄(長門県)は、「新しい出会いやアイデアのきっかけとなり、地域と企業の発展につながることを期待している」と話した。商談会は2012年に始まり、今回で10回目。新型コロナウイルス禍で20年はオンラインと組み合わせて規模を縮小して開催、21年は中止となった。

【静岡新聞】

県内の信用金庫を含む「よい仕事おこしフェア」は、同日、長門市の味覚をPRするための「よい仕事おこしフェア」のブースが設けられた。ブースには、長門市の特産品が並び、来場者から人気を集めた。ブースでは、長門市の特産品について、長門市の職員が説明を行った。

地域中小支援で商談会 全国信金 県内企業も出展



県内企業もブースを出展する「よい仕事おこしフェア」は6日午後、都内の東京ビッグサイトで。

【千葉日報】



全国の信用金庫が協賛する「よい仕事おこしフェア」の東京会場に、長門市もブースを出展し、特産品のPRを行った。会場には、長門市の味覚をPRするための「よい仕事おこしフェア」のブースが設けられた。ブースには、長門市の特産品が並び、来場者から人気を集めた。ブースでは、長門市の特産品について、長門市の職員が説明を行った。

信金一押し 逸品集結

「よい仕事おこしフェア」は、同日、長門市の味覚をPRするための「よい仕事おこしフェア」のブースが設けられた。ブースには、長門市の特産品が並び、来場者から人気を集めた。ブースでは、長門市の特産品について、長門市の職員が説明を行った。

【中国新聞】

中国新聞 2022年12月7日 水曜日 中国経済 168ページ



手羽先を使った商品を手羽先を使った商品を説明する大西社長

原材料高なんの自慢の商品PR
 各地の中小企業が一堂に集まる商談会「よい仕事おこしフェア」が6日、東京ビックサイト(東京都江東区)で始まった。原材料高に直面する企業を後押ししようと、全国の信用金庫でつくる実行委員会が主催。中国地方からも地元信金の呼び掛けに応じたり社が商品を紹介した。

珍珠製造のオオニ(尾道市)は主力の「苺焼ほしい」と贈る。はんだて製造の大洋電機(福山市)は、はんだ付けロボットを展示した。

フェアは新型コロナウイルス禍で3年ぶりの通常開催。464社・団体が参加し、7日

【読売新聞】



「よい仕事おこしフェア」開幕

全国の信用金庫による中小企業向けの商談イベント「よい仕事おこしフェア」が6日、東京都江東区の東京ビックサイトで始まった。

「ものづくり」「食品」「観光」の3業種を中心に、各信用金庫と取引のある464の企業・団体がブースを出展。販路の拡大や取引先の開拓につなげようと、自社の商品やサービスをPRした。

開会式では、全国251地域で生産された米をブレンドして造った日本酒「絆舞」の鏡開きも行われた。写真。全国信用金庫協会の御室健一郎会長は「フェアが地域経済活性化の起爆剤となり、地方創生につながることを願っている」と話した。

7日まで。出展企業・団体以外の参加も自由。入場無料。

【日刊工業新聞】

コロナ禍や原材料高に苦悩する中小企業を支援する大商談会「よい仕事おこしフェア」が6日、東京・有明の東京ビックサイトで始まった。全国の信用金庫などのグループが主催し、信金職員らと呼びかけた453社・団体が出展。地域ならではの食品や独自の金属加工技術、工業製品を披露している。

同日の開会式には秋葉賢也復興相や、小池百合子東京都知事ら地方自治体の首長、信金の理事長らが参加(写真)。秋葉復興相は「地域連携による事業者支援の実現につながる」と話した。

よい仕事おこしフェア きょうまで

過去最高453社・団体

3年ぶり通常開催



「困難な時期に中小企業の出展機会を創出する」と事業機会を創出する今回の大商談会を評した。観光、食品、モノづくりの3分野で、全国の信金職員が推薦する企業・団体が出展中。会期は7日まで。入場無料。

【日本経済新聞】

「よい仕事おこしフェア」開幕
 全国の信用金庫が地域活性化を自覚し展示商談会「よい仕事おこしフェア」が6日、東京ビックサイト(東京・江東)で開幕した。金属・樹脂加工、食品、観光関連の中小企業や自治体などが一堂に集し、技術や商品をPRしてビジネスの拡大につなげる。7日まで。

全国の信金で組織した実行委員会(事務局・城南信金)が主催(日本経済新聞社など後援)。464社・団体がブースを構え、初日のステージでは町おこしの成功事例などが紹介された。

会場では「地域再生に果たす信金の役割」などをテーマにしたトークセッションも実施。城南信金の川本恭治理事長は「いろいろな地域と連携することで解決できる課題は多い。全国の皆さんをつなぐ力を生かしている」と語った。

47都道府県・251地域のこめで醸造した日本酒「絆舞」による鏡開きには、全国信用金庫協会の御室健一郎会長のほか、秋葉賢也復興相や東京都の小池百合子知事も参加した。

地域企業の販路拡大支援

全国信金が商談会

全国の信用金庫で構成する「よい仕事おこしフェア実行委員会」は6日、取引先である中小企業の販路拡大に向けた商談会を東京都江東区の東京ビックサイトで開いた。新型コロナウイルスや円安、原材料の高騰で打撃を受けている地域の企業を支援する。製造業や観光業、食品関係といった各地の事業者、自治体など計約500団体が出展した。7日まで。

【奈良新聞】

会場には、企業の技術力や製品を紹介するコーナーのほか、地域の祭りをVR(仮想現実)で体験できる自治体のブースも。皮ごと食べられる地元の高級バナナをPRした「シモタ産業」(新海県柏崎市)の霜田真紀子副社長は「県外の人に知ってもらい、地域を元気にしたい」と力を込めた。

2022よい仕事おこしフェア (記事)

【福島民友】

“よい仕事おこし、フェア いわきの製品、技術PR



いわき産ワインを試飲する来場者(右)

ひまわり信金の取引先・甲金庫の取引先ら社・団体が出展し、自社製品や技術を発信した。いわき市には、いわき市のみならず、ト、トラス企画、長

久保食品、西野農産、いわきワイナリーがブースを構えた。いわきチョコレートは人気のめひかりチョコシリーズに加え、発売を予定しているメレンゲの菓子「淡ノ果」をPRした。いわきワイナリーはオレンジ色のワイン「甲州オレンジ」など売れ筋8種類をそろえ、訪れたバイヤーらに試飲を勧めた。

ひまわり信金の職員が各ブースで来場者の対応をサポートした。

【福島民友】

地域企業の販路を拡大



東京でさようまで 全国の信金がフェア

全国の信用金庫で構成する「よい仕事おこしフェア」実行委員会は6日、取引先である中小企業の販路拡大に向けた商談会を東京都江東区有明の東京ビッグサイトで開催した。約500団体が出展し、7日まで。

会場には、企業の技術力や製品を紹介するコーナーのほか、地域の祭りやVR(仮想現実)で体験できる自治体のブースも。皮ごと食べられる地元の高級バナナをPRしたシモダ産業(新潟県柏崎市)の齋田真紀子副社長は「県外の人を知ってもらい、地域を元気にしたい」と力を込めた。

主催者代表の樋口都穂(福島信用金庫理事長)は「新しい出会いやアイデアのきっかけとなり、地域と企業の発展につながることを期待している」とあいさつした。

【山形新聞】

本県9企業・団体 出展

東京 全国の信金協賛、商談会始まる



県内からも九つの企業・団体が出展している「よい仕事おこしフェア」。東京、有明の東京ビッグサイト

「よい仕事おこし」フェアは、全国の信用金庫が協賛する商談会。会場には、企業の技術力や製品を紹介するコーナーのほか、地域の祭りやVR(仮想現実)で体験できる自治体のブースも。皮ごと食べられる地元の高級バナナをPRしたシモダ産業(新潟県柏崎市)の齋田真紀子副社長は「県外の人を知ってもらい、地域を元気にしたい」と力を込めた。

主催者代表の樋口都穂(福島信用金庫理事長)は「新しい出会いやアイデアのきっかけとなり、地域と企業の発展につながることを期待している」とあいさつした。

【愛媛新聞】

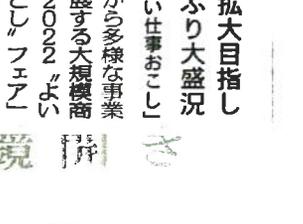
全国の信金が地域企業の販路拡大支援

全国の信用金庫が地域企業の販路拡大支援の一環として、東京ビッグサイトで開いた。新設された東京江東区有明の東京ビッグサイトに開いた。新設された東京江東区有明の東京ビッグサイトに開いた。新設された東京江東区有明の東京ビッグサイトに開いた。

【毎日新聞】

販路拡大目指し 3年ぶり大盛況

「よい仕事おこし」



開会式で「鏡開き」をする出席者

全国から多様な事業者が出展する大規模商談会「2022よい仕事おこしフェア」(実行委員会主催、毎日新聞社など後援)が6日、江東区有明の東京ビッグサイトで始まった。464の企業・団体が出展し、販路拡大などを目指す人たちがにぎわいを演出している。7日まで。

新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催。今回は、ロシアのウクライナ侵襲による物価高騰や円安の影響を受ける事業

者の本業支援をテーマとした。全国の253信用金庫が協賛している。

開会式で、主催者代表で福島信用金庫の樋口都穂理事長が「販路開拓や新しいアイデア

【山梨日日新聞】

全国信金東京で商談会

地域中小企業の販路拡大を支援

全国の信用金庫で構成する「よい仕事おこしフェア」実行委員会は6日、取引先である中小企業の販路拡大に向けた商談会を東京都江東区有明の東京ビッグサイトで開いた。新設された東京江東区有明の東京ビッグサイトに開いた。新設された東京江東区有明の東京ビッグサイトに開いた。

会場には、企業の技術力や製品を紹介するコーナーのほか、地域の祭りやVR(仮想現実)で体験できる自治体のブースも。皮ごと食べられる地元の高級バナナをPRしたシモダ産業(新潟県柏崎市)の齋田真紀子副社長は「県外の人を知ってもらい、地域を元気にしたい」と力を込めた。

主催者代表の樋口都穂(福島信用金庫理事長)は「新しい出会いやアイデアのきっかけとなり、地域と企業の発展につながることを期待している」とあいさつした。

2022よい仕事おこしフェア (記事)

【高知新聞】

全国の信用金庫で構成する「よい仕事おこしフェア実行委員会」は6日、取引先である中小企業の販路拡大に向けた商談会を東京都江東区の東京ビッグサイトで開いた。新型コロナウイルスや円安、原材料の高騰で打撃を受けている地域の企業を支援する。製造業や観光業、食品関係といった各地の事業者、自治体など計約500団体が出展した。7日まで。

会場には、企業の技術力や製品を紹介するコーナーのほか、地域の祭りをVR（仮想現実）で体験できる自治体のブースもある。

【伊勢新聞】

全国の信用金庫で構成する「よい仕事おこしフェア実行委員会」は6日、取引先である中小企業の販路拡大に向けた商談会を東京都江東区の東京ビッグサイトで開いた。新型コロナウイルスや円安、原材料の高騰で打撃を受けている地域の企業を支援する。製造業や観光業、食品関係といった各地の事業者、自治体など計約500団体が出展した。7日まで。

会場には、企業の技術力や製品を紹介するコーナーのほか、地域の祭りをVR（仮想現実）で体験できる自治体のブースもある。

【上毛新聞】

中小の販路拡大 全国信金が支援

東京の商談会に約500団体



商談会で新潟県柏崎市の企業が栽培した高級バナナを食べる来場者＝6日、東京ビッグサイト

全国の信用金庫で構成する「よい仕事おこしフェア実行委員会」は6日、取引先である中小企業の販路拡大に向けた商談会を東京都江東区の東京ビッグサイトで開いた。新型コロナウイルスや円安、原材料の高騰で打撃を受けている地域の企業を支援する。製造業や観光業、食品関係といった各地の事業者、自治体など計約500団体が出展した。7日まで。

会場には、企業の技術力や製品を紹介するコーナーのほか、地域の祭りをVR（仮想現実）で体験できる自治体のブースもある。

【東奥日報】

全国の信用金庫で構成する「よい仕事おこしフェア実行委員会」は6日、取引先である中小企業の販路拡大に向けた商談会を東京都江東区の東京ビッグサイトで開いた。新型コロナウイルスや円安、原材料の高騰で打撃を受けている地域の企業を支援する。製造業や観光業、食品関係といった各地の事業者、自治体など計約500団体が出展した。7日まで。

会場には、企業の技術力や製品を紹介するコーナーのほか、地域の祭りをVR（仮想現実）で体験できる自治体のブースも設置した。

【徳島新聞】

地域企業支援へ全国信金が商談会

全国の信用金庫で構成する「よい仕事おこしフェア実行委員会」は6日、取引先である中小企業の販路拡大に向けた商談会を東京都江東区の東京ビッグサイトで開いた。新型コロナウイルスや円安、原材料の高騰で打撃を受けている地域の企業を支援する。製造業や観光業、食品関係といった各地の事業者、自治体など計約500団体が出展した。7日まで。

会場には企業の技術力や製品を紹介するコーナーのほか、地域の祭りをVR（仮想現実）で体験できる自治体のブースも設置した。

【信濃毎日新聞】

地域企業支援へ全国信金が商談会

全国の信用金庫で構成する「よい仕事おこしフェア実行委員会」は6日、取引先である中小企業の販路拡大に向けた商談会を東京都江東区の東京ビッグサイトで開いた。新型コロナウイルスや円安、原材料の高騰で打撃を受けている地域の企業を支援する。製造業や観光業、食品関係といった各地の事業者、自治体など計約500団体が出展した。7日まで。

会場には企業の技術力や製品を紹介するコーナーのほか、地域の祭りをVR（仮想現実）で体験できる自治体のブースも設置した。

【金融経済新聞】

10回の節目 信金による地方創生 絆の輪広がる



「絆」を創り出す

全国の信用金庫が連携して、地方創生を推進している。10回の節目を迎える「よい仕事おこしフェア」は、信金による地方創生の絆の輪を広げている。信金は、地方創生の推進に積極的に取り組んでいる。信金は、地方創生の推進に積極的に取り組んでいる。信金は、地方創生の推進に積極的に取り組んでいる。

2022よい仕事おこしフェア

14自治体首長も自らPR

全国の信用金庫が連携して、地方創生を推進している。10回の節目を迎える「よい仕事おこしフェア」は、信金による地方創生の絆の輪を広げている。信金は、地方創生の推進に積極的に取り組んでいる。信金は、地方創生の推進に積極的に取り組んでいる。

253信金から460先集結 大商談会

全国の信用金庫が連携して、地方創生を推進している。10回の節目を迎える「よい仕事おこしフェア」は、信金による地方創生の絆の輪を広げている。信金は、地方創生の推進に積極的に取り組んでいる。信金は、地方創生の推進に積極的に取り組んでいる。

2022よい仕事おこしフェア (Web記事)

【時事通信社】

時事通信社

地域企業活性化大戦略推進委員会 全国の取組を支援

「よい仕事おこし」フェア、東京で3年ぶり大盛況開催
 地域企業活性化大戦略推進委員会、全国の取組を支援

「よい仕事おこし」フェア、東京で3年ぶり大盛況開催
 地域企業活性化大戦略推進委員会、全国の取組を支援

【福島民報】

福島民報

地域企業活性化大戦略推進委員会 全国の取組を支援

「よい仕事おこし」フェア、東京で3年ぶり大盛況開催
 地域企業活性化大戦略推進委員会、全国の取組を支援

【神戸新聞】

神戸新聞

地域企業活性化大戦略推進委員会 全国の取組を支援

「よい仕事おこし」フェア、東京で3年ぶり大盛況開催
 地域企業活性化大戦略推進委員会、全国の取組を支援

【西日本新聞】

西日本新聞

地域企業活性化大戦略推進委員会 全国の取組を支援

「よい仕事おこし」フェア、東京で3年ぶり大盛況開催
 地域企業活性化大戦略推進委員会、全国の取組を支援

【日刊工業新聞】

日刊工業新聞

地域企業活性化大戦略推進委員会 全国の取組を支援

「よい仕事おこし」フェア、東京で3年ぶり大盛況開催
 地域企業活性化大戦略推進委員会、全国の取組を支援

【毎日新聞】

毎日新聞

地域企業活性化大戦略推進委員会 全国の取組を支援

販路拡大目指し、3年ぶり大盛況 「よい仕事おこし」

会場 東京

毎日新聞 2022/07/07 10:00 1/1

「よい仕事おこし」フェア、東京で3年ぶり大盛況開催
 地域企業活性化大戦略推進委員会、全国の取組を支援

【日本経済新聞】

日本経済新聞

地域企業活性化大戦略推進委員会 全国の取組を支援

地域間士のコラボ、借金が後押し よい仕事おこしフェア

会場 東京

日本経済新聞 2022/07/07 10:00 1/1

「よい仕事おこし」フェア、東京で3年ぶり大盛況開催
 地域企業活性化大戦略推進委員会、全国の取組を支援

2022よい仕事おこしフェア (Web記事・SNS)

【野田聖子議員】



昨日、「信用金庫による地方創生！日本を明るく元気に！2022"よい仕事おこし"フェア コロナに負けるな！大商談会」の閉会式にてご挨拶をさせて頂きました。
また、閉会式後には出展ブースを視察しました。



午後0:31 2022年12月8日



前地方創生担当大臣としても、地域の活性化および被災地の復興に尽力されている出展者の皆様に敬意を表し、これからも応援してまいります。

2022"よい仕事おこし"フェア
野田聖子
#東京信用金庫



3 7 53

【日刊工業新聞】

インタビュー/城陽信用金庫理事長・川本義治氏 円安・物価高、中小の本業支援拡大

信金の出展、きめ細かく対応

城陽信用金庫（京阪東区2）が取り組む出展の視察で報告する「本業支援」を拡大している。円安と物価高による企業と信用金庫間の取引がコロナで苦しむ中小企業の多発を背景に、12月には全国信用金庫連合会を通じて約300社、地域に特化した大規模融資会を催す。1本拠は理事長が「地域向けでは経済できない、事業にある」と、顧客の経営改善や出展の促進に真摯な関心、支援にこだわる。



一地域の救済策の担当や地域の視察会「信金と企業」といった、本業支援に力を入れる。

「コロナ禍で事業の売上げが落ちる中、国境までつくための融資は物理的だった。今は固定費が下がったが、取引料やエネルギー費が上昇し、売上げが回復して売れ行きは悪くなった。前金庫の側では、価格転嫁できず、円安の影響が大きい。もはや融資だけでは経済できない、事業にある。」

一員会での支援の状況は、

「ちきり金物商社として春まで全額支援している。金融支援と本業支援、両方に重点を置いている顧客への経営改善支援の3つが柱だ。これらを支えながらできるのが信用金庫。中小信用金庫の出展で思っている。」

一員会支援では、融資を断る企業も全体の約10%で、12月6日の「西日本経済大博覧会（よい仕事おこしフェア）」を開催する。

「過去9回の開催は空前のイベントだった。今回はコロナ禍で物価高、円安に関連する中小企業を支援する本格的なビジネス展にする。モノづくり、観光、食品分野に企業から約454社、業種が広がる。うち150社が信用金庫の協賛企業だ。参加は盛り上がる。出展者と信用金庫、出展者同士の出展の場として、よい仕事おこしフェアの開催を望む企業が多いと見られる。」

一員会はここぞを支援の一環で、信用金庫の認知度の向上を目的としている。

「当金庫に口座をお持ちの方の約6割が60歳以上、30歳以下は12%と少なく、とりわけ若年、世代に偏りがある。この層の拡大が、若い世代を支援し、共有したい。今はさいわい、地域が豊か。また、融資の対応も早くなる。このままではいけない。12月のフェアは信用金庫の認知度を高めるのを目的の一つだ。」

【記者の目】 野田氏 聖子氏ら初参加

10月の全国信用金庫博覧会が40年ぶりの高水準、企業関係者約770名参加者を集めた。会場は上下で中小信用金庫の認知度を高め、製品、地域の付加価値や生産性を高める機会を創り出すと期待する。信用金庫などの金融機関と連携したこうした取り組みも支援する。【読者アンケート】

【瀬戸内海放送】

KSB 5ch ニュース 瀬戸内海放送 アナウンサー 瀬戸内海放送 KSBの取り組み

ニュース

全国ニュース ANN NEWS

全国中小企業の商談会 3年ぶりに通常開催

12月6日(水) 経済



全国中小企業の商談会「よい仕事おこしフェア」が6日、3年ぶりに通常開催されました。

【復興庁】



復興大臣の「よい仕事おこしフェア」視察（令和4年12月6日）



【九州朝日放送】



全国のニュース

全国中小企業の商談会 3年ぶりに通常開催

12月6日(水)



全国の中小企業が一堂に会する商談会「よい仕事おこしフェア」が6日、3年ぶりに通常開催で東京で始まりまし

た。会場には全国253の信用金庫のネットワークを生かして集まったものづくりの食品、観光に関連した463の中小企業と団体が出展しています。

お互いの仕事を紹介し、新しい商品の開発や販路拡大を図ろうという強い意気込みが感じられます。

閉会式には秋田県や復興大臣や東京都の小池百合子知事らが出席し、47都道府県250の地域のCMをアフレンドして開会した日本語「旅費」の競演も行われました。

このフェアは東京・江東区の東京ビッグサイトで7日まで開かれています。

【山口県長門市】

